



横浜訓盲学院 だより

第31号 (2014年7月号)

2014年6月23日発行

〒231-0847 横浜市中区竹之丸181番地 URL : <http://kunmou.jp/>

事務局

普通部

理療科

TEL:045-641-2626 FAX:045-641-2627 TEL/FAX:045-662-1710

TEL/FAX:045-662-1833

E-mail : jimu@kunmou.jp

E-mail : futsuu@kunmou.jp

E-mail : riryuu@kunmou.jp



第三の視覚障害

学院長 中澤 恵江

国際的に著名な眼科医レア・ヒヴァリネン先生が、4月に東京で開催されていた国際眼科学会の合間を縫って、4月5日(土)に学院を訪ねていただきました。レア先生は、重複障害児・盲ろう児の見え方を独自の器具と方法をつかって評価し、その結果を養育や教育につなぐことを実践し、著書や映像を通してその成果を発信しつづけています。国際学会では、脳の損傷のために生じる特殊な見えにくさ(中枢性視覚障害)をもつ子どもの理解と配慮について基調講演をされていました。訪問当日は学院の見学だけでなく、中枢性視覚障害を有する児童の視機能評価を実際に行っていただきました。その後、映像や実際の器具を用いて中枢性視覚障害について講義をしていただきました。



視覚障害を有する人たちの理解と配慮の歴史は「全盲」の人に始まりました。次いで、長い長い年月を経て、第二の視覚障害とも言える「弱視」の人たちの理解と配慮が実現して行きました。現在、弱視という障害の理解は進み、拡大教科書をはじめ、必要な支援が社会として提供されつつあります。そして、今、第三の視覚障害とも言える中枢性視覚障害についてスポットライトが当たりつつあります。しかし、日本ではまだまだ浸透しておらず、欧米を中心とした動きとなっています。



レア先生の講義を一つの契機として、本学院においても中枢性視覚障害について理解を深め、子ども達への関わりに活かしていきたいと考えております。



「ごく小さな事に忠実な者は、大きな事にも忠実である。」

ルカ福音書16章10節



《7月の聖句》大切なのは、どれだけ大きなことをするかではなく、小さなことにどれだけ大きな愛を込めるかです -マザーテレサの言葉より-

◎26年度入学式◎

4月8日

4月8日(火)、桜の花びらが満開を迎えた日に入学式・始業式が行われ、今年度は普通科17名、理療科8名、合わせて25名が入学しました。



式は賛美歌から始まり、古旗牧師の話、新入生・進級生の紹介、学院長の話、校歌斉唱などが行われました。新入生紹介では自分の名前を呼ばれると、緊張した面持ちではありましたが、元気に返事をしたり、笑顔で挨拶したりする姿が印象的でした。そして初めて学院に入学した幼稚部のお友達や理療科の生徒の皆さんには学院の校歌はどのように聞こえたのでしょうか?新しい環境でのスタートに不安や緊張もあると思いますが、希望や期待をもってスタートしてもらいたいです。

入学式終了後に、学院の隣にある柏葉公園の大きな桜の木の下で学部、グループごとに記念撮影をして、新しい一年のスタートを切りました。



新しい一年のスタートを切りました。



◎春の遠足◎

4月25日

高等部
普通科

4月25日(金)に普通科では、八景島シーパラダイスへ遠足に行きました。スクールバスを利用し、往路では朝の会や遠足の歌を楽しみました。



島内では、始めにマスコットのシー太くんと記念撮影をしてから乗り物まで行きました。「ドラケンバレル」(グルグル回る酒樽)と『ピーターパン』(くるくるゆらゆらと動く2人乗りの船)に乗りました。笑顔が見られる生徒や始めは緊張しながらも次第に楽しそうな表情が見られる生徒もいました。

その後はお弁当を食べる場所まで爽やかな潮風を感じながらゆっくりとみんなで歩きました。大きなシートの上では、お菓子の交換をする生徒や相撲を楽しむ生徒など、普段では見られない生徒同士のやりとりが見られ、のんびりと有意義な時間を過ごすことができました。復路のバス内では、お誕生日の友だちを祝ったり、楽しかったことを振り返りながら学院へ戻って来ました。



◎春の遠足◎

5月9日

幼小
グループ



5月9日(金)に幼小グループでは、神奈川県ライトセンターへ遠足に行ってきました。午前中はキッズルームで、様々な遊具に触れて遊びました。ジャンプをすると鈴の音がするトランポリンも一生懸命、高く跳びました。みんなで入ったボールプールでは、ゴツゴツする感触を全身を使って味わったり、1つ1つボールを確認したり、投げたりして楽しみました。

ジャンプをすると鈴の音がするトランポリンも一生懸命、高く跳びました。みんなで入ったボールプールでは、ゴツゴツする感触を全身を使って味わったり、1つ1つボールを確認したり、投げたりして楽しみました。

午後は大きな体育館で思いきり走ったり、壁についた岩を登るボルダリングやゴーカートを体験しました。また、空気遊具のサイバーホイールを使ってリレーもしました。サイバーホイールを押したり中に入って「わあ〜」と元気な声を響かせながら広い体育館を端から端まで動き回ったら、少し目も回ったかな?!

お弁当もおやつもしっかり食べて、体をいっぱい動かす楽しい1日を過ごす事が出来ました。



臨床実習のご案内

当学院では授業の一環として、あんま・マッサージ・指圧および、はり灸の臨床(治療)を行っています。是非ご利用下さい。



★あんま・マッサージ・指圧・はり灸…水・木・金曜日

料金 一律 1000円

時間 前半 9:50~
(各50分ずつ) 後半 10:50~

◆ご予約はお電話で!
当日の朝 8:45~9:10
電話 090-9009-5882
◆お問い合わせは理療科まで
電話 045-662-1833

◎運動会◎

5月24日

5月24日(土)清々しい晴天の下、運動会が行われました。

ひとりひとりが、力強く、かわいく、いろいろな動物になりきっていた幼小グループ、色とりどりのお花をつけた妖精に扮して踊った小中グループ。

今年も息のあった、迫力のある組体操を見せてくれた高等部。生活科は力強い太鼓にあわせてソーラン節を披露してくれました。鍛えぬかれたマッサージの技術を生かしながら、クイズで競った理療科。各グループそれぞれ、練習の成果が存分に発揮されていました。



鉄線走では、紅白白熱した戦いが今年も繰り広げられました。応援に来て頂いた保護者の皆様、ボランティアの皆様、あたたかいご声援をありがとうございました。



視覚障害 三二知識

— グランドソフトボール —

視覚障害者のスポーツとして、グランドソフトボール(盲人野球)のことは、前号で紹介致しました。盲人野球の全国大会として、全国盲学校野球大会が毎年8月に開催され今年で29回目になり、8月21日(木)に開催します。それ故、盲学校の甲子園ともいわれ、全国のいずれかの都道府県で持ち回り開催をしています。各地区のブロック予選を勝ち上がった9チームが予選リーグ・決勝トーナメントを戦い、1位が決定します。

今年度は神奈川県が担当となり、平塚市内の小中学校の協力を得て3コートを利用し、2日間にわたり熱い火花を散らす戦いが行われます。

キャッチフレーズは、「つかめ勝利!浜の風吹く湘南の夏!」です。試合中はボールが地面を転がるわずかな音を頼りにして選手は動きます。そのため、時には観客も声援を送りたくても声や音を出さず、静かに見守っていただけないこともあります。また当日は、隣接する競技場からの音で試合に支障を来さぬように、それらの会場の使用も控えております。皆さま、湘南の風を浴びながら白球を追う選手たちに熱いエールをお願いいたします。

ご来場の際には、以下、ホームページをご参照下さい。
<http://grand-softball.com>

◎26年度の主な行事予定◎

- 7月** 11日(金) 理療科解剖見学
22日(火)~8月25日(月) 夏休み
- 8月** 21日(木)~22日(金) 全国盲学校野球大会(神奈川大会)
26日(火) 授業開始
- 9月** 26日(金) 創立記念日(創立125周年)
- 10月** 1日(水)~2日(木) 小学部修学旅行
4日(土) 学校開放(移動動物園)
8日(水) 前期終業式
9日(木)~10日(金) 秋休み
14日(火) 後期始業式
22日(水) 高等部普通科 秋の遠足
24日(金) 幼小・小中グループ合同 秋の遠足
31日(金) 保護者参観日
- 11月** 7日(金) 理療科遠足
15日(土) PTAバザー
26日(水) 普通部 マラソン大会
- 12月** 6日(土) 普通部 第1次入学検定
13日(土) 神奈川県盲学校サウンド・テーブルテニス大会
19日(金) 理療科生徒会クリスマス祝会
20日(土) クリスマス礼拝・祝会
24日(水)~1月7日(水) 冬休み

思うツボ

長引く腰痛には脳のケアが必要!

日本では国民の80%が「腰痛を経験したことがある」と答え、そのうちの約4分の1の人が腰痛が原因で仕事を休んだことがあるという調査結果があります。最近では腰痛が長引く患者さんの問題は実は腰だけでなく、仕事のストレスや脳が関係していることが分かってきました。

人は痛みを感じると、なるべく痛みを和らげるために脳が「鎮痛ホルモン」を出します。しかし長いことストレスのある環境にいと、この機能が弱くなってしまい、いつも痛みを感じるようになってしまうのです。

また、腰痛を悪化させる原因となるのが、また腰痛が起こるんじゃないか?という恐れによる運動不足です。適度なウォーキングや有酸素運動はむしろ腰痛を改善するには良いことなのです。これらの運動は脳の働きを活性化し、「鎮痛ホルモン」を出すことにも貢献していることが分かっています。

適度な運動、心穏やかな生活、健康的な食事を心がけることは心身ともに健康でいるための要なのです。

2013年度(平成25年度)

賛助金・寄附金並びに寄贈品・ご招待の御礼

平素より、本学院の視覚障害教育にご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

平成25年度(平成25年4月1日～平成26年3月31日)における皆様からの賛助金・寄附金並びに各種ご招待は、下記の通りとなりましたので、ご芳名を掲げ感謝申し上げますとともに御礼申し上げます。

〔賛助金〕ご芳名(50音順、敬称略)

(個人)

秋山修一(秋山眼科医院)、荒井勝彦、菅岐良夫、石井和子、今村創太、今村謙、今村朋子、今村美保、榎並とし子、江藤潔、越猪英樹、大崎實、小笠原啓、小笠原侑、笠川康子、片山恵美子、北村光之、久保寺淳夫、久保寺好夫、古賀裕子、小島凜土、小林誠治、斎藤幹一、齋藤忠行、佐藤正幸、志賀智江、新藤啓二、新藤有美子、鈴木晴子、相馬千鶴子、嶽澄夫、田中純子、田中房子、土屋博、歳藤梅吉、殿岡時仲、中澤恵江、長谷川知之、長谷川光正、痛将一、痛忠蔵、早川勝男、早水利行、藤森和子、古旗誠、細田道子、正岡幸伸、丸山恵子、武藤嶺子、村瀬統一、孟学琳、森田厚、森谷すみ、安寛、矢野榮子、矢野豊、山科俊子、楊和長、吉見草坊、依田康子、匿名

(教会関係)

キリスト教保育連盟神奈川支部、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団篠原教会、日本キリスト教会横浜海岸教会、日本基督教団鎌倉教会、日本基督教団久里浜教会教会学校、日本基督教団清水ヶ丘教会、日本基督教団新丸子教会、日本基督教団田園江田教会、日本基督教団西千葉教会、日本基督教団藤沢教会、日本基督教団松戸教会、日本基督教団翠ヶ丘教会、日本基督教団目白教会、日本基督教団目白教会 婦人会、日本基督教団元住吉教会、日本基督教団横浜磯子教会、日本基督教団横浜上原教会、日本基督教団横浜上原教会 婦人の会、日本基督教団横浜大岡教会、日本基督教団横浜指路教会、日本基督教団横浜二ツ橋教会、日本基督教団六角橋教会、日本ルーテル教団戸塚ルーテル教会、野毛山キリストの教会

(学校関係)

青山学院初等部、青山学院幼稚園保護者会、厚木幼稚園、上星川幼稚園、かえで幼稚園、関東学院のびのびのば園、菊名愛児園、鶴沼めぐみルーテル幼稚園、相模翠ヶ丘幼稚園、桜ヶ丘幼稚園、早苗幼稚園、田園江田幼稚園、ドレーパー記念幼稚園、横浜愛隣幼稚園、横浜三育幼稚園、捜真小学校、捜真小学校PTA、関東学院六浦小学校、横浜雙葉小学校、関東学院六浦中学校高等学校、捜真女学校中学部高等部、横浜雙葉中学校高等学校、横浜英和学院、フェリス女学院中学校・高等学校バザー部門、フェリス女学院大学奨学会、呉竹鍼灸柔整専門学校、日本聖書神学校 学生自治会

(その他団体)

アンクベル・ジャパン(株)、(株)安藤・間 横浜営業所、ITSEVEN(株)、(有)今村塗装工業、MJデザイン研究所、(株)オーチャー、(株)大山組建材、柏葉町内会、神奈川韓国青年商工会、かながわ信用金庫山元町支店、神奈川県眼科医会、(株)神奈川クッキングサービスセンター、(株)協同ビルテック、鷹山竹之丸町内会、(株)清光社、(株)泰山園、(株)ダスキン横浜、テクタイト(株)、東洋観光(株)、中区第三地区社会福祉協議会、(株)ファンケル、(有)増山住設、宮崎ピアノ工房、もっと何かができるはず基金、(有)ヤマキ文具店、横浜関内ライオンズクラブ、横浜訓盲学院同窓会四つ葉会、(株)吉田電機、(株)ランヒル

株式会社ファンケル様より 寄附金をいただきました

株式会社ファンケル様では、従業員の皆様が寄附金を募り「もっと何かできるはず基金」を作り社会貢献活動として寄附活動を行っており、この度、本学院は寄附金をいただきました。

この寄附金で、本校の弱視児童生徒達にとって、鮮明なカメラ・画像拡大機能と持ち運びやすさにより、あらゆる場面で見えにくいものを見えやすくしてくれる強力な支援機器として「iPad」を整備し、教育に活用していきます。

本当にありがとうございました。

〔特別寄附金〕

(財)みずほ教育福祉財団

〈賛助金〉4,055,481円

〔現物寄附〕

平成24年度理療科卒業生(空気清浄機1台)

〈特別寄附金〉 650,000円

〈合計〉4,705,481円

〔その他寄贈品〕

社会福祉法人桜雲会、(株)オーチャー、(株)大山組建材、春日主計館、門多裕子、川野太郎、協和発酵キリン(株)、サントリービバレッジサービス(株)、(株)ジャパンビバレッジセントラル、鍼灸マッサージベンタ、公益財団法人すこやか食生活協会、(株)泰山園、田口謙吉、田口三津子、田中房子、TBSラジオ編成局、点字学習を支援する会、東京ガス(株)、特別非営利活動つくし会、特定非営利活動法人東京盲ろう者友の会、富田香(平和眼科)、豊橋ともしび会、永延道代、NPO法人日本視覚障害者柔道連盟、公益財団法人日本テレビ小鳩文化事業団、(株)ニッポン放送、日本放送協会、ねむの木学園、発砲印刷やまゆりの会、NPO法人藤枝光文庫、毎日新聞社、孟学琳、NPO法人ユニバーサルデザイン絵本センター、楊和長、横浜訓盲学院同窓会四つ葉会

〔ご招待〕

神奈川県遊技場共同組合／神奈川福祉事業協会

ご協力をお願い
(平成26年度 賛助会員)

私どもの視覚障害教育にご理解いただき、ご支援下さる団体・個人の方々の賛助会員を募らせていただいております。よろしく申し上げます。

【年会費】法人(1口)10,000円／個人(1口)1,000円(口数は問いません)

【お支払い方法】・郵便振替[加入者名]学校法人横浜訓盲学院(口座番号00200-5-40861)
・現金

【その他】会費以外に寄附金も有難くお受けいたします。

【お問合せ先】横浜訓盲学院 事務局 TEL.045-641-2626